

（彼女の夜勤空け元ヤン姉に掘られるマゾ雄）

（トラック①）

（中・近）

おら！

めんどくせえから、

さっさと観念しろよ。

お前が抵抗したって

無駄だってわかるだろ？

この私から逃げられるやつなんて、
いねえんだからさ。

…もう決まったことなんだよ。

しっかり教えてやるから、

耳の穴かっぽじって聞けよな。

（左・密着）

（ききやき声で）

（少し間を置いて、低く囁くように）

深夜に、

彼女の姉である私に呼び出されたお前は、

これから…

ぐっちょぐっちょのメッタメタに、

私に犯される。

夜が明けようが、

私が満足するまで、

絶対に終わらせてやんねえからな。

妹の彼氏だからって、

手加減してもらえと思ったか？

（中・近）

ああ？

なんで私が、お前とセックスするのかって？
決まってるだろ。

私がムラムラして、
今すぐにでも

お前を抱きつづきたいからだよ。

（息を荒くしながら）

こっちはな、

ガテン系の夜勤バイトで、
汗だくで帰ってきたんだぞ。

疲れて帰ってきたつてのに、

家の中で若いガキが

イチャイチャしてんの見せられて…

どんだけムカつくと思ってるだよ。

それだけじゃねえぞ。

私の部屋まで…お前らのスケベな声、
ぜーんぶ、聞こえてたんだからな。

（吐き捨てるように）

お前のその粗チンで、

うちの妹が

何度もイカされてる声も、
バーツチリ聞こえてたぞ。

（中・近）

こっちは疲れてんだぞ？

夜勤明けでクタクタなのに、
そんなスケベな声を

延々と聞かされてみるよ

ムラムラしちまうのも、
仕方ねえだろ？

だからき…

おら、きつぎとやらせろよ。

私のこのムラムラ、

ぜーんぶお前に叩きつけてやるからな。

はあ？

甘えたこと言ってんじゃねえぞ。

お前はこれから、

私の性処理道具だ。

(間を置き、嘲笑混じりに)

(復唱する感じで)

ん？何だよその顔。

「妹とセックスしまくったから、もう立たない」？

「浮気になるから許してくれ」？

…はっ、バカかお前。

何を勘違いしてんだよ。

お前のちんぽの都合なんぞ、

「ミリも関係ねえって言っただろう？

ほら、見ろよ

私のこのガチガチに

勃起したふたなりちんぽを。

血管ビキビキで、デカくて、熱くて…

お前の粗チンなんか、

そばに置いとくだけで

萎えちまうレベルだよな。

(声色を低く、挑発的に)

なに？

彼女の姉がふたなりだって知って、ビビった？

（鼻で笑うように）

ふっ、情けねえな。

でも、

お前の都合なんか関係ねえ

（間を作り、低く囁く）

私が興味あるのは…

このデカちゃんぽを、

お前のその

オス処女まんこに、ねじ込むことだけだ。

お前はこれから、

私がザーメンを

ひねり出すためのオナホだよ。

グッチョグッチョに犯して、

全部叩き込んでやるから、

覚悟しろよ

（中・近）

ふっ、言つとくけど…

逃げ出そうなんて考えるんじゃないぞ。

このイライラした

ちゃんぽをほつといて、

お前が逃げたら、

私がどうなっちまうか

わかんねえからな…

（少し低い声で）

昔はな、

ここら辺じゃ

ちょっとした有名人だったんだぜ？

“ふたなりのレディースヤンキー”の
「ヒグチ」って言えば、

そこら辺のオスどもが、

ケツ穴抑えて、

震えながら逃げ出してたくらいだ。

（間を置き、嘲笑を交えながら）

私の金玉が

ザーメンでパンパンになると…

何しでかすか、

自分でもわかんねえくらい

ヤバイふたなりヤンキーだったんだよ。

今はまあ、

丸くなったつもりだけどな。

ふふっ…

昔は、ほんとヤンチャしてたもんだ。

お前もさ、

少しでも優しくしてもらいたいなら、

今のうちに媚び売っとけよ？

…ふふ、

もう遅いかもしれねえけどな。

（声色を低く、ねっとり）

特に私はな、

一発射精するまでは、

何をしでかすかわからねえんだよ。

キレイやしくて、

気性が荒くて…

お前みたいな奴を見ると、

どうしようもなく

犯したくなるんだよ。

(中・近)

(近づく音を想像させながら)

…ああ、

今から自分がどうなるか、

顔ヒクつかせてやがる〜

助けを呼びたいけど、

彼女に知られるのが怖いってか？

その哀れな顔〜たまんねえなあ。

(吐息混じりに)

ひひ

拒んでも無駄だぞ。

お前の

ちっちゃえキューキューに締まったオスケツ穴、

このでっかいちんぽで…

ゆっくり、じっくり、

開かせてやるよ。

私の金玉に

溜まったストレスザーメン、

ゼーンぶぶっこ抜いて、

お前の中にぶち込んでやる。

(笑いながら)

うひひ

もちろん、

一発で終わるわけねえだろ。

ザーメン抜いても、

私のこのガチガチのちんぽ竿が、

しおれるまで…

お前のオスケツ穴で

何度でも抜きまくってやるからな。

覚悟しとけよ。

お前はこれから、

このふたなりヤンキーの

オナホになるんだからよ

(中・近)

ふっ、私はな、

そんじよそこらの

ふたなりとは訳が違うんだよ。

性欲ビキビキのオラオラ系の

ヤンキーふたなり様なんだからな。

お前みたいな雑魚が、

私のちんぽを満足させない限り、

絶対に許してやんねえから…覚悟きめろ！

(やや左・中)

(少し笑いを含ませながら)

おーおー、ふふっ。

見ろよ、この金玉…

どんどん上がってきて、

ちんぽの角度も

えぐいことになってきたぞ。

久々の処女オスを手に入れて、

肉オナホでちんぽ磨きができるなんて、

興奮しすぎて…

ちんぽ、ヤバいことになってきたわ。

(少し間を置き、シコリはじめる)

ひひ、

ちよつとシコるか…

オラッ、オラッ、オラッ。

ほら見ろ、私がシコってるぞ？

今からお前のケツ穴を犯すために…
彼女の姉のふたなり様が、
そのなっさけねえツラを眺めながら、

（嘲笑混じりに）
まるで獲物を品定めするように…

おおー、
ズリズリ、ズリズリ、ズリズリ…

血管バキバキの極太ふたなりちんぽ、
こきつけてんだよ。

（低く囁くように）
お前には
オナニー見せつけてやってるだけだが…

ふふっ、
どうだ？興奮するだろう？

（復唱する感じで）
ああ？
なんだよ

「そのまま見えますから、
オナニーで射精して、
我慢してください」？

あん！
舐めてんのか、お前は。

（急に声を荒げて）
人がこれだけ本気でシコってるのに、
「オナニーで済ませろ」とか！

ふざけんじゃねえぞ！

私を誰だと

思ってたんだよ、

このシャバガキが！

（中・近）

（声色を荒げつつ加速する）

オラッ、オラッ、オラッ！

ヤラセろ、ヤラセろ、ヤラセろッ！

（少し間を作り、挑発的に）

そのツラ…

顔ばっか整えて、

気持ちよく女のまんこで

ザーメン漏らすことしか考えてねえ、

イキりパンピーの

クソザコアナルが…

（低く強調しながら）

私のデカちゃんぽで、

ヒイヒイ

言わされる覚悟、

できてんのか？

オラッ、オラッ、オラッ！

（少し笑いを含ませて）

ふふっ、なんだよ…

シコってる私のちゃんぽ、

そんな目で拝んでくるとはな。

両膝床につけて、

「頑張りますから口で許してください」？

…ははっ、なに

フェラで済ませようとしてんだよ。

(低く囁くように、ねっとりと)
そんなに

このデカちんぼ様に掘られるのが怖いのか？

ふふっ…でもな。

お前が媚びてきたその態度…

嫌いじゃねえよ。

(間を取って、威圧的に)

けど、

そんなもんで私の機嫌が直ると思うなよ…

お前はこれから、

この極太ちんぼ様に、

全身全霊で

尽くしてもらうからな…。

(中・近)

ほーら、

ちんぼ離して…

このデカいちんぼを、

お前の顔面に、

先っぼごすりつけてやるよ。

ほーらほーら、

ほーらほーら！

私のちんぼから

ぶっこいて出てきた、

エロい我慢汁…

ふふっ。

お前の整った顔に、

ヌルヌル塗りたいくってやったぞ？

お前の粗ちんなんかとは
比べ物にならねえ、

圧倒的にデカくて強い、
“つよちんぼ様”だ。

（低く嘲笑混じりに）

このデカちんぼを、

今からお前にしゃぶらせる。

顔面にちんぼ汁たっぷりつけて、
ヌルヌルにしてやったんだから…
ありがたくしゃぶりつけよ。

（急に声を荒げて）

ああ？「オナニーで済ませてください」？

ふぎけんじゃねえよ！

ふぎけやがって

射精させられなかったら…

そのままケツまんこに

責任取らせるからな。

ほら、ほら、ほら！

（挑発的に間を取りながら）

ふふっ…嫌そうな顔しやがって。

こっちは肉体労働で、

ちんぼ汗だくムレムレだっつーの。

風呂に入っても

くせえままだからよ…

その匂いで

えずいて

ゴボゴボ言ってんじゃねえよ。

(低く囁くように)

ほら、しっかりしゃぶれ。

しゃぶらねえと…

お前の処女ケツ穴、

即ぶち抜いてやるからな？

オラッ、しゃぶれ、しゃぶれ、しゃぶれ！

(徐々に声を荒げつつ)

おーおー、ふふっ…

オス口まんこ、パクーって開けて、

デカイ亀頭を丸飲みだ。

池の鯉みたいにパクパクしながら…

全力でしゃぶり奉仕してやがる。

ふふっ…

なかなか気持ちいいじゃねえか。

(急に声を落として)

でもよ、

先っぽばかりしゃぶる、

そんなよわちゃんぽ奉仕じゃ…

私のヤンキーちんぽは満足できねえよ。

ほら、口まんこ全部開けて、

喉の奥までしっかり使えよな…。

おーおー、

まだ自分の「しかくわえ込めてねえが

やるじゃねえか」

このビッチが。

(息を荒げながら、声を震わせて)

ああ…やべえ…

本当にヤバイ…！

イライラしてたこのちんぽ、
お前の口まんこで

思いつきりしゃぶられて…

金玉がキュンキュンして、

パンパンに張り詰めてきやがる…っ！

(深く息を吸い込み、腰を突き出しながら)

ちんぽ竿の先っぽから、

ゾクゾクとした快感が全身に広がって…

もう抑えきれねえ…！

ああ、やべえな、これ。

若いオスに

こーやってしゃぶらせて、

腰突き出して、ちんぽ磨かせるだけで…

体中が熱くなってくる。

(低く囁きながら)

うひひ

お前のその必死な口の動き…

全部私のちんぽに

響いてるんだよ…！

舌が巻きついて、唾液が垂れて、

その熱っぽい息が、

このちんぽにまでわりついてくる…

もうたまんねえ…っ！

(息を荒げつつ、さらに腰を突き出して)

ほら、もっとしゃぶれ！

その口まんこで

私のちんぽを、

根元から磨き上げて、

金玉の奥に溜まつてるザーメンを…

全部吸い出すくらい、全力でしゃぶれよ！

(さらに声を震わせて、感情を高ぶらせながら)
ああ、

やべえ、こんなに気持ちいいの久しぶりだ

お前のその必死な顔と、

しゃぶられてるこの感覚が…

全部混ざって、

頭がおかしくなりそうだ…！

(声を荒げて)

オラッ、ラッ、もっとしゃぶれ！

息なんてする必要ねえだろ…

お前は

私専用のちんぽしゃぶり玩具だ。

ほら、しゃぶらねえと…

このヤンキーちんぽ、

根元まで

お前の口まんにズボつけて、

胃袋までぶち抜いてやるからな。

(笑いを交えつつ)

白目向きながら、

ひょっとこ顔でしゃぶりついて…

ほんと無様だな。

でもよ、その顔が…

マジで興奮するんだよ。

(息を荒げながら加速)

オラッ、

頭掴んで…オラッ、オラッ、オラッ！

お前の口まんに、

物みたいに扱って、

私のちんぼの

オナコキ道具にしてやってるぞ？

彼女のまんこで

気持ちよく射精してた、

勝ち組のイキリパンピーのオスを、

こうやって

ザーメンチリ紙代わりに使い潰せる。

マジで…最高だな。

(喘ぎ声 10秒)

んふおふお…んふっ。

なんだよ、

このクソビッチが！

「もう許してください」なんて

泣き言言いながら…

ちんぼの先っぽに

舌を絡ませて、

ドスケベなレロレロフェラしやがって。

そんなスケベなちんぼのしゃぶり方、

そこら辺のメスですら

絶対にできねえぞ？

(少し間を置いて、嘲笑混じりに)

んふっ、さてはお前…

ちんぼしゃぶり経験アリの、

情けねえちんぼ売春婦だなあ？

どうだ、

うちの妹に言つてやろうか？

（相手が反応する様子を描写）
ん？グボグボ言って、

「違います」って？

必死に弁明してきやがって、
だっせえなあ。

だったら…

このスケベすぎるちんぼのしゃぶり方、
どう説明つけんだよ？

オラッ、オラッ、オラッ！

（息を荒げながら続ける）

おおっ、見ろよ…

ちんぼの先っぽ、

ピッカピカに磨き上げた後は、

ちんぼの裏側、返しの部分を…

舌先でベロベロ、ベロベロ、ベロベロ…

（低く囁くように）

きたねえカスまで舐め取って、
スケベ奉仕しやがって…！

そんなに

ザーメン欲しいのかよ、

このクソ便器が。

オラッ、オラッ、オラッ！

（感情をさらに高ぶらせて）

おおっ…

もうイキそうだ。

こんなスケベな

ちんぼ奉仕をされて…

ザーメンひねり出す瞬間が、
楽しみで仕方ねえなあ。

ほら、今すぐ…

ちんぽザーメンを、お前の口まんこに
全部ひねり出してやるからな。

いいか？

一滴でも残したら…

そのままケツまんこで
責任取らせるぞ？

(息を荒げながら加速する)

ほーらイク、ほーらイク！

若いオスの髪を掴んで、

ああ…

無理やりちんぽを

喉の奥に叩きつけて…

ガチガチでビキビキに血管が浮き出た、
このふたなりちんぽから…

ザーメンをひねり出してやる…っ！

ほら…

しっかり上目遣いで私を見ろよ。

今からそのバカまんこ面めがけて、
ザーメンをぶっ放してやるから
全部受け止めろ

ほーら出る、

ほーら出る！

ほら、ザーメン出るぞっ！

このふたなりムラムラちんぽから、
ザーメン射精いくぞ…

3、2、1…

オラアッ！

妹の彼氏に、

ザーメン…発射ッー！！

（中・密着）

（息を荒^はげながら）

おおっっ、

出てる、出てる、出てるッー！

左右で大きさが

不揃いなふたなり金玉から絞り出した、

濃厚なザーメンが…

お前のオス口まんこに…

（声を強調して）

びゅーびゅー、

びゅーびゅー、びゅーびゅーッー！！

ふふっ…

飲みきれるわけねえ量のザーメン、
たっぷりひねり出してやったぞー！

（嘲笑交じりに続ける）

おおっ、なんだよ？

私のザーメンもらって、

飲み込むの失敗して…

泣きべそかきながら、

ザーメン胃袋から

逆流させてんじゃねえよ！

(さらに声を荒げて)

苦しそうにしてんじゃねえ！

漏らすなっつただろうが……！！

(低く囁きながら)

…ふふっ、

これはお仕置き確定だな。

妹の彼氏だからって、

ぜーったい容赦しねえぞ…。

(左・密着)

(ききやき声で)

(声を徐々に高めながら)

こっちは物心ついたときから、

ヤンキーやってんだよ！

追い込み方だって…

ハンパじゃねえからなッ！

(息を荒げ、威圧的に続ける)

お前のこと…

これからたっぷり、

かわいがってやるから

覚悟しとけよ？

このムラムラふたなりちゃんぽ様の、

性処理専用オナホとして…

逃げることもなんか絶対に許さねえ。

(低く囁き、ねっとり)

ふふっ…今日からお前は…

この私のちゃんぽに一生逆らえない、

ザーメン搾り専用の道具だ。

(声を荒げ、吐き捨てるように)
ほら、覚悟決めろ！
お前みたいなザコオス、
私に使い潰されるのが
お似合いだろ……！！

(トラック②)

(中・近)

ほら、
しっかり気合い込めて…
その情けないマゾダンス、
私に見せつけてみろよ。

全裸でさあ、ふふっ…

勃起もできて

ねえちゃんぽをフリフリさせながら、

(復唱する感じで)

「ごめんなちゃーい、許してくださいちゃーい！」
「おザーメン全部ゴクゴクできなくて
ごめんなちゃーい！」って…

赤ちゃん語で

情けなく謝ってみろよ。

(少し間を置き、威圧的に)
ほら、ちゃんぽ…

下から、弱い力で、

ほら、ほら、ほら！

蹴り上げてやったら効くだろう？

そのちっちゃい粗チン…

下から軽く蹴られるだけで、

ふふっ、

キュンキュン感じちまうよなあ？

（低く囁きながら）

でもな…もし私が、

ちよつとでも機嫌損ねて、

本気で下から足を振り上げたら…

その情けねえちんぽと金玉、

一瞬でぶっ壊されて…

二度と、

うちの妹とセックスなんて

できなくなっちまうぞ？

そんなのって…

男として、情けなくてやばいよなあ？

（相手を見下すように）

ふふっ、いいだろ別に…

私は昔から、男を負けさせて…

屈辱的なことさせるのが…

だーい好きなんだからさ。

ほら、見てみろよ。

お前の情けなーいマゾダンスのおかげで…

私のちんぽ、

だんだん勃起してきてんぞ？

さっき、大量のザーメンぶっ放して…

ヘトヘトだったちんぽ様が…

また元気になってきやがった。

ふふっ…もつと元気になったら、

どうしようかなあ…

お前のオス穴、犯して…

中出ししちゃうかもなあ？

(声を荒げて)

ほら…されるのが嫌なら…

もっと情けないダンス、踊ってみろよ！

(少し笑いを含ませながら)

ははっ…うわ、こいつ最低だな。

勃起もしてねえちんぽ…

ヘリコプターみたいにブラブラ、ブラブラ…
チンポコプターの一発芸、披露してやがる。

男として、

その歳でそんなことしちまうなんて…

プライドのかけらもねえのかよ？

お前は。

(スマホを取り出しながら)

ほら…

あとでしっかり思い出せるように…

その情けないマゾ媚びダンス…

スマホで撮ってやるよ。

ほら、ほら、ほら…！

(嘲笑交じりに続ける)

あーあ、ふふっ…中腰になって、

その粗チンをブルンブルンさせてる、

情けねえ証拠写真…

しっかり撮られちゃったなあ。

(さらに威圧的に)

私に逆らおうなんて思うなよ…。

もしそんなことしたら…

昔のツレにこの写真ばら撒いて…

お前の周りの不良たちにも…

全部行き渡るまで

追い込んでやるからな？

そんなの嫌だろ？

ふふっ、嫌だったら、

私にもつと気に入られるように

頑張らなきゃなあ。

ほーら、

下からちんぽ…

ペシペシしてやるぞ。

ああ？なんだよお前。

こんなキツイことされて、

追い込まれてんのに…

下から

ゆっくりちんぽを蹴り上げられて、

それで…なんで

ちんぽがガチガチに勃起してんだよ？

しかも、

勃起でちんぷりが、難しくなつてやがる。

(嘲笑交じりに)

こんな情けないことで…

ちんぽ固くしちまうなんて、ダメだろ？

まさかお前、

マゾなんじゃねえのか？

(やや右・近)

ふふっ…だったらす…

マゾらしいイキ方、教えてやるよ。

ほら…

お前のちんぼの目の前に、

私の“きつつーい指輪っか”が来ちまったぞ？

これにちんぼ差し込んで、

自分で腰をへこへこ振りながら…

情けなくちんぼぶっこいてみろよ。

（低く囁きながら）

言っとくけどな…

私のガテン系で

鍛えた握力のこの指輪っか…

どんなにちんぼ振っても…

ぜってーに解けねえから。

一回ちんぼ差し込んだら…

絶対に逃げられねえぞ？

でもな…

お前はこの“ちんぼ輪っか”で…

射精するまで、

その情けねえマゾ踊り…

やめさせてもらえねえからな。

ほら、

さっさとちんぼ輪っかに突っ込んで…

情けないマゾ踊り、見せてみろよ！

（嘲笑を含みながら）

ああ？どうした？

ちんぼ頑張って

入れようとしてるのに…

ふふっ…

私の“ふたなりヤンキー指輪っか”がキツくて…

ちんぼが進まねえか？

(さらに挑発的に)

ガチガチに勃起したちんぽ…

一生懸命押し込もうとしてんのに…
輪っかが

キツくて全然入らねえなんて…

笑わせんなよ。

ほーら…気合いだ！

その半被りの皮を

指輪っかにこすりつけて…

ほら、ちっちゃい輪っかを広げるみてえに…
腰を突き出せよ！

ほら、ほら、ほら！

(低く嘲笑交じりに)

ふふっ…あーあ…

とうとう指輪っかに

粗チンが入っちまったなあ。

そしたら…

ほら、ほら、ほらっ！

なーに顔面ひっぱたかれて…

辛そうなツラしてんだよ？

叩いたらちんぽ振れ…

って合図だろうが。

さっさとちんぽ振らねえと…

顔面の形変わるくらい…

強烈なお見舞いしてやるからな？

ほーら、ほら、ほら！

さっさとケツ振って…

私の“マゾちんぽコキ穴”で…

ちんぽ出し入れして、

気持ちよくなってみろよ！

（息を荒げながら）

ふふっ…おーおー…

マゾちゃんぼガチガチにして…

フリフリ情けなく揺らしながら…

余った皮を、

私の指輪つかでゴシゴシしてやがる。

（低く、冷たく囁く）

ふふっ…言っとくけど…

射精したら…両方の金玉潰して…

反省させっからな？

（間を置き、吐き捨てるように）

ああ？当たり前だろうが。

マゾキは許してやったけど…

射精は許してねえんだからよ。

射精しなかったら…

私の許可がねえと…

できるわけねえだろうが、クソマゾが！

（右・密着）

ほーら、

ザコちゃんぼ…ふふっ。

逃げ出そうとしても無駄だろう？

根元でキューツと、このキツい握力で…

ちゃんぼ輪っかに

ガッチリ握り込まれてんだから…

ちゃんぼ、

逃げられねえよなあ？

ほら、ほら、ほら！

（少し間を取って）

出すな。

でも逃がさねえ。

私の許可があるまで…

絶対に、ぜーったいに、

ザーメンなんか

出させてやんねえからな。

ほら、ほら、ほら！

（嘲笑混じりに）

ふふっ…

なんだよ、この情けねえザコ。

いつも半皮被りのマゾちゃんぽ…

皮剥かれて、

指輪っかに裏筋こすりつけられただけで…

（復唱する感じで）

「あっ、やだっ、負けちゃう！」

「壊れちゃう、ちんちん許してー！」なんて…

なっさけねえ媚び声上げてやがる。

（右・近）

普段はさあ…

一人前のオスみたいな

カッコつけたツラしてんのに…

（やや右・近）

ちょーっと

ちんぽいじめられたくらいで…ふふっ。

そんな情けないマゾ声、

上げてんじゃねえよ。

ほんつと、笑えるザコだなあ！

(中・近)

オラッ、オラッ、オラァッ！

ほら、

金玉をギューギュー逆手で握り込んで…

ちんぼ竿をコキコキ、

指輪っかで擦ってやってんぞ？

今、この状態で

ザーメン出しちまつたら…

絶対に、

ふたなりヤンキーの私に…

たーっぷりお仕置きされるんだからな？

ほら、

頑張って射精耐えてしろよ！

オラッ、オラッ、オラッ！

(相手の反応を嘲笑しながら)

ん？出したいのか？

だったら…

ほら、お願いしてしろよ！

(低く囁きながら)

「彼女のふたなりお姉さま…

情けないちんぼから

射精させてください」ってな。

(復唱する感じで)

「明日からお姉さまのちんぼ便器になりますから…

僕の情けないマゾちんぼ、

射精するの許してください」って…

ほら、媚びてしろよ。

(声を荒げながら嘲笑交じりに)

ふふっ…なんだよ、

ちょっと詰められただけで…

マゾ声上げて、そんな情けねえセリフ…

平気で言いやがって。

ほんとにプライドの欠片もねえ…

キモ男だよなお前。

ほら…顔面に唾ぶっかけてやるよ。

(唾吹きかけ)

ふふっ…

お前みたいなチヨロザコマゾは…

睡で顔ひたひたにされて

情けなく泣き顔晒してんのが

お似合いなんだからよ！

(間を取って冷たく)

じゃあ、

ほら…イっていいぜ。

今から、

私が面倒見てやって…

そのマゾちんぽ…射精させてやる。

(少し声を荒げて)

だが…タダじゃねえぞ？

もし射精したら…

私のこのガチガチに勃起して…

待機してるちんぽ…

お前で使うからな。

その覚悟決めてから…

ザーメン出しちまえよ？

(さらに激しく)

ほーら、

出せーほーら、出せー！

マゾちゃんぽコキコキされて…

金玉潰されて…

体ビクビク痙攣させながら…

オホオホ言って

気持ちよきそうなマゾ顔晒して…

ほら…

その情けねえ顔で…

全部出しちまえよ！

(いじわるそうに、嘲笑交じりで)

ほら…

カウントダウンしてやるよ。

そのマゾちゃんぽ…

私のドギツイ指輪つかで、

ギュッと

思いっきり締め付けてやってんだから…

ほら、出せ、出せ、出せ…！

3、2、1…ほら、果てろよ！

射精だ、出しちまえ！

(嘲笑しながら)

おーおー、ふっふっ。

出てるな、

出てる…出てるぞ！

(少し間を置いて、いじわるそうに)
ちゃんぽザーメン、

びゅーびゅー出してくるかせ…

そのザコちゃんぽ…弱くてよお…

ゼーんぶ重力で

下に垂れて落ちていきやがった…
よわ射精だなあ、ふふっ。

(さらに挑発して)

ちんぽついてんだったら…

もっとしっかり飛ばしてみろよ！

このクソザコが…！

(少し間を作り、低くねっとりとして…
さてと…

じゃあ、もういいだろ？

ふふっ…。

(声を上げて威圧的に)

今度は…

私のガチガチに勃起したちんぽ…

このまま、お前に使ってやるからな。

(左・密着)

(声を荒げて加速する)

いいか…

こっちはちんぽムラムラで…

今すぐお前のごと犯したいんだから…

逃げられると思うなよ！

(低く囁きながら)

ふふっ…お前のケツ穴処女…

今日、ここで頂いてやるよ。

泣こうが喚こうが…

絶対に許してやんねえからな。

(トラック③)

(左・近)

ほらほら、

ふふっ。

デカイパイオツを

背中にこすりつけながら、

耳舐めてやってるぞ。

お前の背中に当たってるこれ、
何かわかるか？

ふふっ。

私のデカいちんぽがな、

お前の背中で

じきじきに勃起しながら待機してんだよ。

ほら、

ヤラセろ。ヤラセろ。ヤラセろ。

今からこのデカいちんぽで、

お前のオス処女を開いてやる。

私が満足するまで、

ガチガチに勃起したふたなりちんぽで

犯し尽くしてやるからな。

それで私の都合で

気持ちよくなったら、

中出ししてやるんだよ。

ほら、

ふたなりに中出しされる現実を

しっかり受け止めろよ。

情けない顔して、
もっともつと惨めになれ。

ほら、ほら、ほら。
ふふっ、

あーあ。
ちんぽ立っちゃってるじゃねえか。

自分が今から
犯されるってわかってるのに、
粗末なちんぽを上向きにしやがって。

でも教えてやるよ。
お前のそのちんぽ、
もう使い物になんかなんねえからな。
ほら、

その情けねえ粗チン。

私が手でしっかり握り込んで、

（左・密着）

（耳舐めしながら）

ほらほら、

耳を舐めながら、ふふっ。

今から私のデカちんぽが、

お前のケツ穴に入る前に、

お前のショボチンを

シコって準備運動してやるよ。

（みみフェラ 5秒）

ほらこんな風に、

お前のケツ穴は

ちんぽで形を変えられて、

ズーボズボされちまうんだ。

（ズボズボ連呼 耳フェラ 5秒）

(ききやき声＋耳舐め)

絶対に異物なんか

入れちゃいけないオス処女穴に、

私のデカいちんぽを

ぶち込まれて、

形をぐっちゃんぐっちゃんにされて、

犯され尽くすんだぞ。

そして、

ふたなりちんぽが一番気持ちよくて

デカくなった瞬間、

奥のちんぽの先っぽを

叩きつけられて、

びゅーびゅー中出しされちまうんだからな。

なあ、

そんなの最高すぎて気持ちよすぎるだろうが。

(射精される)

おおっ、な、なんだよこれ！

ふふっ、マジかよ。

お前、今射精したのかー？

自分がこれから

ケツまんこ犯されるって、

ちゃんとわかってんだろ？

それなのに、

耳舐められて、

脅しちんぽコキされただけで…

射精しちゃうとか、

ほんつとありえねえわ。

(嘲笑交じりに)

お前、どんだけ情けねえんだよ。

そんなザコマゾっふり、
笑いが止まんねえわ、ふふっ。

(左・近)

ほーらー、
じゃあ、

このまま押し倒してやるよ。

ふふっ。

ほら、頭を床にこすりつけろ。
もっと情けなく這いつくばってみろよ。

今からバックで

私のちんぽで突き上げてやる。

下から突き上げながら…

ケツまんこを広げて犯してやるからな。

(やや左・中)

おーおー、

ふふっ、いい光景じゃねえか。

犯されるってわかってんのに…

射精したばかりのショボちんぽを

ブランブラン、

させながら震えてやがる。

ケツを上げて、

掘られる準備満点かよ。

お前、どんだけマゾなんだ？

(尻たたき)

ほら、

このマゾ、マゾ、マゾ。

両ケツ叩いて、

ほら、

すっかり真っ赤にしてやったぞ。

もみじマークまでくつきりだ。ふふっ。

(嘲笑混じりに)

ほら、

お前はもう…

うちの妹の彼氏じゃねえんだからな。

今からは、

私専属のオナホだ。

これから、

しっかり私のちんぼの面倒を見るのが、

お前の役目だからな？

忘れんなよ。

(中・中)

ほら、ケツを掴んで…

このデカいちんぼの先っぽを…

お前のオスケツ穴に

ゴリゴリ押しつけてやるぞ。

(ねっとり)

ほら、

入り口をちよつと…

ちんぼの先っぽで

なぞられてるだけなのに…

ケツ穴ヒクヒクさせて、

体ピクピクさせてやがる。

もう入れられ

マゾのオナホになっちまったのか？

そんなに

このちんぽが欲しいのかよう…ふっ。

(威圧的に)

お前はもう…

私のちんぽなしじゃ生きられない…

ふたなりちんぽ専属の

穴玩具だからな。

おら、しつかり媚びてこいよ。

ちんぽの先っぽが…

だんだん、だんだん、奥に入っていくぞ。

初めての処女穴セックスなのにな、

生でこのデカちんぽを

ズリズリ擦り付けられて…

しかも、

中出しキメられちまうんだから、

たまんねえだろ？

ほーら入る、ほーら入る、

デカちんぽ、私のものが…ほら、入…るっ！

(中・近)

おおっ、入ったぞ、入った、入った！

おおー、これやべえな。

このケツ穴、マジで最高だわ。

ストレス溜まりまくって、

ずーっとご無沙汰だった

この凶悪な

ヤンキーふたなりちんぽを、

お前のオスキツキツ処女穴を

開かせて…

ほらほら、

だんだん奥に入ってきてる。

ちんぽの先っぽが、ほら…

コツコツ、コツコツ、コツコツ

当たってんのがわかるか？

ふふっ、どうだ？お前…

オスのくせに処女オス穴開かれて、

奥の奥まで

ふたなりちんぽ突っ込まれて…

ケツの一番奥を、

ちんぽの先っぽでコツコツされてんだぞ。

それなのに気持ちよきそうにしゃがって

やっぱり、

お前マゾなんだろ？

（嘲笑を交えながら）

おおっっ、

見ろよおまえのマゾちんぽ、

こんなに追い詰められて、

勃起もできてねえ粗チンのくせに…

どんどんマゾ我慢汁が出ちまってる。

情けなくてスケベすぎるだろ。

でもな…

お前の役目は、

私のこのちんぽを

気持ちよくすることだけだからよ。

しっかりオナホとして、
頑張って働けよな？

おおー、
ちんぽ、いいっ！
おおー、めっちゃいい！

デカイパイオツをユサユサ揺らしながら…
オスの腰を
ガツチリ掴んで、
バックからちんぽ叩きつけてやる、

この性処理ちんぽセックス…
たまんねえ！効きすぎる！

このオス穴の、あったけえ熱…
デカちんぽをゴシゴシ擦られる感触…

ほんと
溜まんねえくらい気持ちいいわ！

ほら、ほら、ほらっ。
ふふっ…
ちんぽを入れるたびに、
体ビクビク痙攣させやがって…

ほんと、
マゾすぎるだろう？
おおー、私のちんぽも…
めちやくちゃ具合よくなってきた。

お前のそのマゾまんこもお…
広がってるくせに
キューキュー締めつけてきやがるし、

ああ、

ちんぽの返しがきつくて…
マズびっち穴になってるの、
めっちゃ楽しませてくれるな。

ほーら、

もっとパコパコしてやんよ
ほらほらほら！

ふふっ…

何だよ、その喘ぎ声。

お前、ほんとクソビッチだな。
うちの妹よりも
女声上げるの、
うめえじゃねえか。

ふたなりにバックからケツ掘られて…
情けねえ声出して感じやがって…
ほんと救いよのねえクソビッチだわ。

ほらもっと

感じてみろ！

お前の彼女にも…
その情けなすぎるスケベ声、
聞いてもらわねえとな？

もっと家中に響くくらい…
情けなくて、みっともねえエロ声、
思いっきり上げてみろよ、ほら！

私はほら、
ちんぽの角度を
もっともつと上向きにして…

お前をバックから
ガン掘りしてやってんだよ。

いじめ抜いて、

スケベな体に叩き込んでやってんだから…

ほら、ほら、ほらっ！

おーおー、ふふっ。

なんだよこれ…

ちんぼの先っぽを

ギューギュー締めつけて、

ケツ穴の肉ひだで

スケベに奉仕してきやがる。

お前、

ほんとスケベすぎるだろう？

ちんぽにケツ穴掘られて

媚びてくるなんて…

お前はもう最低のマゾだよ。

だからもっと

私のちんぽに媚びて…

もっとスケベなマゾになってみせろよ！

ほら、ああーっ。

お前のマゾ乳首…

両方とも引っ張って、

それを手綱にして、

ぐいぐい引っ張りながら…

後ろからちんぽで

襲ってやってんだぞ。

ほら、ほら、ほらっ。

もっと嬉しそうな喘ぎ声、上げてみせろよ。

ほら、

気持ちいいだろう？

このデカいちんぽで、

お前の体…穴ぼこ広げられて、

ズボズボ突かれてんの、

たまんねえだろ？…ふふっ。

これが女の気持ちよきなんだよ。

お前はオスだけどな…

これからは

私のちんぽ便器なんだから、

しっかりメスの気持ちを味わえよ。

それで…

私に中出ししてもらえるように、

もっと必死に媚びてきな？

ん？…ふふっ。

なんだよ、

自分からケツ振って…

射精のおねだりしてんのか？

ほんと情けねえな。

どうしてこんなクソビッチに…

私の妹が

引っかかっちゃまったんだかね。

ほんっと、笑えるよ。

ほら、

中出しだ、中出し！

私の金玉で作った…

ドスケベなヤンキーDNAを、

お前の中にぐちまけてやる！

ほら、

射精したらしっかりお礼言えよ。

「中出しありがとうございます」ってな！

ほら出る、

ぎーめん出る、

中出しイクぞ！

お前も一緒にカウントしろ。

声出してみろよ、

いくぞ、ほら！

3、2、1…！

オスケツ処女穴に、

中出し、いくつ！

おおっ！

射精した瞬間に…

ケツ穴が

キューキュー〜締め付けてきやがる！

（息を荒げながら）

ああ、

これ、ヤバすぎだろ。

ザーメンの残りまで…

ゼーんぶ持って行こうとしやがる。

どんだけスケベなんだよ。

最近のオスガキは、

ほんとと救いようがねえな！

ああ…金玉の中のザーメン…
ゼーんぶ持って行きやがったな。

ふふっ、

お前、最高の便器だよ。
気持ちよかったぜ。

ふふっ、

こんなに最高の
オナホを手に入れられるなんてな。

(左・近)

だからよ…
またちんぽがイライラしたら…
一発やらせろよな？

お前のケツ穴で…

びゅーびゅーと

トイレ代わりに射精するの、
マジで半端なく気持ちいいからよ。

いいか？

しっかり覚えとけよ？

お前が

私のちんぽの性処理係として…
しっかり役目を果たすなら…

(左・密着)

(ぎゅぎゅ声で)

妹にはバラさねえからな。ふふっ。

二人だけの秘密…
内緒にしてやるから…

だからまた、

私に抱かれに来いよ。

わかったな？

ふふっ、次も楽しみにしてるからな。

(トラック)

(中・中)

ほら、もっと可愛く…

私のちんぽのこと、誘ってみろよ。

わざわざ、

私が絶対着ないような…

ぶりっぶりの

可愛い服を着せてやったんだから…

その格好で、

しっかりちんぽを誘ってみせろ。

おーおー、ふふっ。

オスのくせに女装させられて…

ケツ穴開きながら…

ふたなりちんぽを

誘ってくるとか、ほんと笑えるよな。

お前、私に抱かれたくて…

なりふり構わず

スケベポーズしてやがるし…

そのちっちゃい粗チンを

ギンギンに立てながら…

情けなく媚びてきやがって。

(中・近)

ふふっ…お前、知ってんぞ？

もっうちの妹と…

セックスできてねえんだってな。

この前、

ちんぽを挿れようと思ったのに…

お前のその小っちゃいのが

全然立たなくて…

結局、

入れられなかったんだろ？

ふふっ。

お前、

ちんぽちっちええくせに…

女の体で勃起もできなくなったら…
もう人生終わりだぞ？

(少し間を取って挑発的に)
ほら…

私のガチ勃起ちんぽを…

その情けねえ

粗チンにこすりつけてやるからな。

ほら、ほら、ほらー！

(右・近)

これが欲しかったんだろ？

でっかいちんぽで

ケツ穴を無理やり開かれて…

ズボズボ奥まで突かれて…

オスが絶対味わっちゃいけない

快楽を叩き込まれて…

そのまま中出しをびゅーびゅーされて…

その感触が

忘れられなくなっちゃったんだよね？

ふふっ…もう女の体じゃ…

お前の粗チンなんて、

立たなくなっちゃった。

そのくせ、この年になって…

不能になった情けないオスが…

ふたなりのちんぼ穴便器に

なり下がるなんて…

ほんと、笑えるよね。

ふふっ、

でも仕方ねえよね？

もうお前には…

私のちんぼ便器として

抱かれるくらいしか…

できることなんて

残っちゃいねえんだからさ。

ほら…

しっかり抱かれろよ？

ほら、デカちんで…

その情けねえ粗チンを、

ペシペシ、ペシペシ叩いてやるよ。

(嘲笑混じりに)

おーおー、どうしたよ？

私のちんぼで

粗チンをいじめられるたびに…

「おほほお」なんて
情けねえ声出しやがって。

なんでオスのくせに…
ふたなりちんぽに完敗させられて…

こんなに
気持ちよくなっちまえるんだよ。

ほんと、
救いようのない
敗北マゾだな、
お前は。

ほーら、このデカいちんぽで…

まずはお前の粗チンを…
ゴシゴシ、
ゴシゴシ、

磨き上げてやってんだぞ？

このちっぽけな粗チン…
今から私の
デカふたなりちんぽで…
完全に負けさせてやるよ。

（息を荒げながら）
お前のちんぽから
出るザーメンなんて…
捨てるただけに
製造されてんだからさ。

ちょっと私のデカちんぽにいき使われて…
惨めにザーメン漏らして…
プライドなんて全部捨てちまうのが…

ほんとにお似合いだよな。

(低く囁きながら)

ん？ふふっ。

そっか、

そんな情けないことがしてえんだな

(右・密着)

いいぜ、ほら…。

私の本気のデカちゃんぽコキで…

お前の情けねえ粗チン、
イけよ。

ほら、出せ、出せ、出せ！

(射精)

(中・中)

おーおー、ふふっ。

見ろよこれ…

お前のなつきけなーいザーメン…

私のデカいふたなりちんぽに
かかっちゃまったな。

ほら、

お望み通りだろ？

お前のマゾちゃんぽザーメン…

これをローション代わりにして…

お前のケツ穴に

ぶち込んでやるからな。

(少し間を作り、冷笑混じりに)

私のおつきくて

ガッチガチのちんぽ…

お前のザーメン付きで汚れた…

情けねえ粗チンを見下しながら…
今からケツ穴、じっくり犯してやるよ。

(中・近)

ほら、あーっ。

まだ、私のデカいふたなりちんぽ…

しっかり広がりきれてねえな。

この初心者ケツまんこ…

ほら、今から入れてやるぞ。

おーおー、ふふっ。

なんだよこれ…

入れられた

瞬間にメスイキで、

イっちゃったのか？

ほんと、

救いようのない

クソビッチだな、お前は。

(嘲笑しながら)

まだ私は

全然気持ちよくなってねえってのに…

お前、

オスのくせに

そんなクソビッチな変態で…

ほんつと反省したほうがいいぞ？

こくソマゾがあ

…こら変態！

お前のそのちんぽ付きのオナホ穴…

デカいちんぽで掘られて…

オホオホ感じてやがる…

ふたなりちんぽ中毒の
マゾ穴になっちまったな。

ほらほらほらーっ！

このデカいちんぽを…

お前に叩きつけて…

私のふたなりちんぽ、

どんどん気持ちよくさせてやってんだぞ。

（少し低く囁くように）

ん？ふふっ。

なんだよ、お前…

そんなことシテもらいてえのかよ？

ほんと、

最低の変態だな、お前は。

（やや左・近）

いいぜ？じゃあ…

覚悟しろよな。

（左・密着）

ほら、

お前が私のデカちんぽで、

マゾ勃起させられて

気持ちよくされて…

女装まで

させられてオホオホ言ってる姿…

今度、

しっかりお前の彼女…

私の妹に見せてやろうな？

ヤンキーで

体育会系の、

ガチガチ勃起ちんぽで…

性処理穴にされてる

お前の情けねえ姿…

しつかり見られて、

お別れされちまえよ、ふふっ。

でもな…

お前が妹と別れたところで…

お前のオナホとしての

役割は終わんねえからな。

ほら、ああ…見てみろよ。

私のストレスで

ガチガチに膨れ上がったこのちんぽがく

この面倒を見るために…

これから

しつかりオナホ人形として働けよ。

覚悟決めろって

言ってんだろ？ふふっ。

(やや左・近)

おおー、

ふふっ…なんだよこれ？

自分で

お願いして言ってもらったセリフで…

ちんぽバキバキに勃起させて…

しかもマゾイキしてんのかよ。

興奮しすぎて

体のけぞらせて…

ほんつと、

変態にもほどがあんたろうが。

(中・近)

ほら、ほら、ほらー！

お前みたいな最低のマゾは…

一度ちんぼでぶっ壊れないと…
もう人生終わっちまうからな。

どうせ私と一緒に…ふっ…
頭のいい生き方なんて
できねえんだからさ。

せいぜいセックスでしか
役に立たねえ…

マゾ人形になっちまえよ。

ほーら、

今からぶっ壊してやるから…

しっかり私の目を

見ながら壊されろよ？

ほら、

ガチガチに固くなったちんぼ…

さらにおつきくして…

射精に備えてやってんだから…

お前も気合い入れて

受け止めろよ、ほら！

さーん！

ほら見ろよ、これ！

さっきまで

お前のケツ穴を広げまくってた、

このデカちゃんぽ…

さらに一回りデカくなって…

お前のケツ穴、

ぐっちゃん、

ぐっちゃんにぶっ壊してんぞ！

ほら、今からだ…。

このちゃんぽの先っぽで…

お前のオス子宮に

ザーメンぶち込むために…

狙い定めて、

グイグイ振ってやってんだよ！

にーい！

ほら、声出せよ！

もっと情けない喘ぎ声…

出してみろ！

ちゃんぽ振られて、

それだけで気持ちよくなって…

「オホオホ」なんて言いやがる…

情けねえ、

マゾメスの顔きらししてる…

変態ビッチのツラ、

もっと私に見せろよ！

いいか、中出してやっから…

もっとぶっ壊れて、

ズタズタになれよ！

いーち！

ほら出る、

ほら出る、ほら出る…！

これがガッツリ鍛えた

ガテン系ヤンキーふたなりギャルの…

ドスケベちゃんぽの力だぞ！

今すぐ…お前の中に、

中出しで…

びゅーびゅーびゅーびゅー…

ザーメンぶち込んでやるからな！

（低く威圧的に）

ほら、

お前のために金玉も限界まで上げて…

ザーメンぶつ放す準備、

全部整えてやったぞ。

ほら今すぐ…イけよ！

ほーらイク、

ほーらイク、ほーらイク…

ゼロツ！

お前も一緒に…

イっちゃえっ！

ふたなりザーメン、

ぶっ放し、発射ああああー！！

おおーっ！

出てる、出てる、出てるぞー！

金玉がビクビク痙攣して…

ガッチガチに

膨張しまくったふたなりちゃんぽ竿から…

ああー、

ザーメンがゼーんぶひねり出されていく！

おおーっ、やっべえ…！

全部ザーメン、
持って行きやがったな…

このクソビッチなちんぽオナホが！

（息を荒げながら）
ほんと…

情けなくて最高のオナホだぜ…。

お前みたいなやつに
ザーメンぶっこ抜かれる快感…
マジで気持ちよすぎる！

（やや左・近）
ふうー、
ほら見ろよ。

お前、もう完全に手遅れだな。
私のちんぽなしじゃ…
絶対に
気持ちよくなれない…

ぶっ壊れた体になっちまってんだよ。

お前はもう…
私のオナホ以外で
快感なんて得られねえ…

情けねえクソマゾなんだからな。
ん？ふふっ…
そうか、そうか。
私に惚れちまったってか。

ほんと救いようがねえな、
お前は。

(中・密着)

じゃあ…

ほら、ほら、ほら。

デカパイをグイグイこすりつけてやるよ。

さらに…

ドスケベなキスもしてやる。

お前が喜ぶ顔を見てやるためにな。

(キスフェラ 5秒)

(中・近)

ふふっ、

でも勘違いすんじゃないぞ？

これはな…

お前がしっかりオナホとして…

役目を果たした

褒美代にすぎねえんだよ。

ガキにタバコ買いに行かせる

小遣いみたいなもんだ。

だから調子に乗んなよな？

これからも…

私のちんぼの面倒…

しっかりお前に見させてやるから…

せいぜいオナホとして、

精一杯頑張れよ。

わかったか？この…マゾ。ふふっ。